

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	汚水施設整備事業						継続					
コード	80	-	23	-	01	-	00	予算事業名	汚水管渠整備事業			
担当部署	事業推進部		下水工務課		汚水整備担当		予算事業コード	会計	款	項	目	

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務

基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち	根拠となる法令、条例等	下水道法
方向性(節)	3節	自然と調和した基盤づくり	個別計画等の名称	実施計画
施策	3	公共下水道等の整備		
細施策	1	生活排水施設の整備		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	市内の下水道認可区域内を対象に、生活環境改善、公衆衛生の向上並びに公共用水域の水質保全を図るため、公共下水道の整備をします。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	実施設計業務委託により得た成果で、設計書を作成し公共下水道の整備をした。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		351,819	414,325	293,955	382,550	315,240	
事業費	A	327,550	402,769	259,226	381,642	315,240	403,845
	B	22,200	22,200	22,200	29,600	29,600	29,600
総コスト(C=A+B)		349,750	424,969	281,426	411,242	344,840	433,445
正規職員(1年間の従事人数)		3.00人	3.00人	3.00人	4.00人	4.00人	4.00人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	48,000	74,917	26,345	55,520	18,000	39,200
その他特定財源	E	185,000	186,500	154,800	194,100	111,900	255,200
市の財政負担(=C-D-E)		116,750	163,552	100,281	161,622	214,940	139,045

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	下水道人口普及率	%	84.5	84.2	84.6	84.9	行政人口に対する下水道処理が可能となる人口の割合
成果	下水道整備面積	ha	47.0	9.0	46.0	16.0	一年間の下水道整備面積

中心指標の考え方	本事業は、成果指標を中心に評価する。
指標に基づく評価	下水道整備面積は、年々整備が進んでいるものの、下水道人口普及率がさほど変化していない。今後、効率的、計画的な整備を図り、普及率をさらに向上させることで、公共用水域の保全と生活環境の改善に取り組む必要がある。

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題
単年度の事業目標と実績については順調であるが、下水道事業認可区域の下水道整備の早期実現については、財政上非常にきびしい。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	H23年度末下水道人口普及率 川越市84.9%・高崎市70.9%・宇都宮市83.6%・横須賀市97.5%・前橋市68.6%・船橋市75.1%・柏市88.7%
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	生活排水が未処理のまま水路や排水路に流れ込み、生活環境の悪化や公共用水域の水質汚濁につながる恐れがある。
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	継続
市内の下水道事業認可区域について、今後も積極的に整備を図っていきたい。	